

あいさつ

宮崎県教育委員会

学校政策課長 黒木 正彦

各学校におかれましては、それぞれの学校の教育目標の達成に向け、また、子どもたちが学ぶ楽しみや学ぶ大切さを実感できるよう、日々子どもたちの教育に御尽力いただき、誠にありがとうございます。

いよいよ平成21年度から、平成20年3月に告示されました学習指導要領による教育活動が一部先行実施されます。新しい学習指導要領におきましては、その基本理念として「これまで以上に生きる力をはぐくむ」ことが示されております。

中央教育審議会の座長を務められた兵庫教育大学学長の梶田叡一氏が、「生きる力」を「我的世界を生きる力」と「我々の世界を生きる力」ととらえ、その基礎をはぐくむところが学校であると述べておられます。

子どもたちが、学ぶ仲間と一緒に、お互いを認め合い、お互いに切磋琢磨しながら、「一人しかいない自分」とともに、「みんなと共に生きる自分」を創造していけるような場所として学校が存在する必要があるのではないかと思います。

ぜひ、それぞれの学校において、すべての先生方が、「何のために」また「子どもにとってどんな意味があるのか」という意識のもと、一体感をもって、日々の教育活動に当たっていただきたいと切にお願い申し上げます。

さて、県教育委員会といたしましては、教育基本法が約60年ぶりに改正された今、新学習指導要領の趣旨を生かした教育活動を、各学校におきまして、具体的に展開していただけるように、「新学習指導要領ガイドブック～『生きる力』をはぐくむ教育課程の創造を目指して～」を作成いたしました。

このガイドブックは、平成20年7月に文部科学省主催の説明を受けて、県教育委員会内に「新教育課程研究プロジェクト」を立ち上げ、約6月間かけて作成したものです。「新学習指導要領の趣旨を具体的な授業レベルで示そう」という想いのもと、各教科等に分かれて研究を深めてまいりました。

短い期間ではありましたが、各市町村教育委員会や各学校からも御意見や御指摘をいただきました。十分ではありませんが、それらの御意見や御指摘を反映させて、今回完成することができました。県教育委員会が作成したというより、市町村教育委員会や学校とともに、このガイドブックを作成することができたものと思っております。お忙しい中、御協力いただき、誠にありがとうございました。

最後になりましたが、各学校におきまして、本ガイドブックが、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ様々な教育活動が展開される際の一助となることを心から願っております。